



トップスニュース

Vol.117

発行日:5月10日



トップス広島 事務局

〒734-0007
広島市南区皆実町2-8-42
猫田記念体育館1F
TEL: 082-254-2012
FAX: 082-251-5712
URL: www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



サンフレッチェ広島

サンフレッチェ広島レジーナ選手が FLPカップに参戦！！

3月21日(日)、広島経済大学フットボールパークにて小学校低学年を対象としたサッカー大会「第6回FLPカップ」が開催された。大会前のキックターゲット対決に、サンフレッチェ広島レジーナの中村楓選手、木崎あおい選手、3選手が参加し、子どもたちとの真剣勝負を楽しんだ。参加した子どもたちは、高得点の的に蹴りこんだり、狙いやすい的に正確に流し込むなど真剣に勝負を楽しんでいた。参加した木崎あおい選手は「スタジアムに来てもらえるきっかけを作れてよかった。」と中嶋淑乃選手は「元気が出ました。」と話してくれた。



サンフレッチェ広島レジーナは5月8日(土)にアウェイで大宮アルディージャVENTUSとのプレシーズンマッチ初戦に挑む。中村楓選手は「WEリーグプレシーズンマッチは、サンフレッチェ広島レジーナが発足して初めての公式試合となる。試合内容にもこだわりながらも、自分たちのプレーで勇気や感動を与えていきたい。」と試合の意気込みを話してくれた。



(狩野稜太)



JTサンダーズ広島

スタメン初勝利

3月6日、FC東京戦、JTサンダーズ広島は3-0で勝利した。この試合で

金子聖輝選手はスタメン初勝利をした。今シーズン、金子選手はプロ5シーズン目に突入し、スタメンで試合に出ることが増えた。試合は、セッターの金子選手からトーマス・パトリック・エドガー選手を



中心に攻撃が決まった。金子選手にとってもスタメン初勝利は嬉しいものだった。また、今シーズンセッター以外で出場する機会があり、これまでに経験したことないことを経験した。新しいことに挑戦するシーズンとなった金子選手は、「試合に出場しても満足にいかないときもあった。二日連続の試合なので次の日のことをすぐに考えていた。」と述べた。

今シーズン、コロナ禍での異例のシーズンを無事に終えることができた。金子選手を含むJTサンダーズ広島の選手たちは1月に医療従事者への感謝を伝えるために県病院に足を運んでいる。その時のことを金子選手はこう語った。「実際の現場は見れないけれど、病院の外から手を振って、自分たちが感謝を伝える行ったのに、自分たちも元気をもらった。スポーツで元気を与えようと思った。」と。

来シーズン、プロ6シーズン目となる金子選手のす

べてに注目して今後の活躍に期待したい。(竹本早希)



来シーズンへと準備を進める ワクナガレオリック

2月に今シーズン最後の試合を終えたワクナガレオリックは、プレーオフ進出まであと一歩の5位という結果に終わった。個人では、稲毛選手が得点王、小賀野選手がベストディフェンダー賞とそれぞれ初となる個人タイトルを獲得した。また、田中選手が学会賞を受賞し、試合とは別の面でのハンドボールへの貢献があった。今シーズンを振り返ってみて、「シーズンの前半では、1、2点差のところまで勝ちを取れなかったことや、昨シーズンでは勝っていた相手に対応されて勝てなかったことが今回のプレーオフ進出に届かなかったことにつながった。」と語った。

今シーズンをもって4人の選手が引退し、そして新たに、磯田選手、福本選手、原口選手、小武選手の4人が加わった。新加入選手を迎え、期待が高まる来シーズンに向けて、現在チームは鍛錬期に入っており、更なる体力の向上など試合に向けての体作りを行っている。来シーズンでは、熱いチームであることは変わらず、一つでも多くのタイトルを獲得することや、プレーオフの進出を目標にしている。新人選手も加わり、さらに“熱い”ワクナガレオリックに期待したい。(小野山陸人)



期待の新人 秋山静香選手！

先日、レギュラーシーズンを終えたイズミメイプルレッズは、13勝3敗0分で2位と

いう順位で終了した。なんと今回第45回JHL最優秀新人賞にN o. 10秋山静香選手が選ばれました。秋山選手は「正直自分が新人賞に選ばれると思っていなかったが、自分がコートに立つ自覚や責任感を持ちながら勝ちたい一



心で試合に臨んだ。」とコメントした。これから強化していきたいことについては「大学と違いボディコンタクトでのあたりがきつく一試合を戦い抜く力をつけるとともに、自分は線が細いから、怪我に気を使い納得のいく体づくりをしていきたい。」とコメントした。大胆なプレーでチームに貢献した秋山選手のこれからの期待したい。(西本涼真)



地域密着型の バドミントン部を目指して

3月14日にシャープスポーツセンターで小学生を対象としたバドミントン教室が開催された。また、3月20日には、シシンヨーオークアリーナでバドミントン講習会が開催された。両日ともに広島ガスバドミントン部OGの亀田氏、平井氏が派遣された。



取材した中でいくつか質問をし、答えていただいた。(Q1)バドミントン教室、講習会を開催している理由は？

(A)地域密着型のチームを目指しているため、地域に寄り添って広島でのバドミントンの普及・発展を最重視している。また、バドミントンをやったことのない人にも参加してほしい。

(Q2)これからの子どもたちに期待したいことは？

(A)バドミントンの競技レベルは世界レベルであるに関わらず、競技人口は全国でも、広島でも少なくなっている。バドミントンの競技人口の増加を願うとともに、小さい子供たちにもバドミントンに挑戦してほしい。

(Q3)今後も活動をしていくなかで何をしていくか

(A)コロナ禍で今まで通り教室などができない中で興味を持ってもらえるようなバドミントンの見せ方をしたり、マンツーマンが厳しい中で別のやり方を考えたりしながらやっていきたい。

今回の取材で、広島ガスバドミントン部がこのコロナ禍で様々な対策を練りながら、バドミントンの普及・発展を目指していることがよくわかった。続く活躍を期待したい。(濱本夏美)



第1回平和カップ ひろしま国際ソフトテニス大会

3月13日(土)、14日(日)第1回平和カップひろしま国際ソフトテニス大会が広島県の広島翔洋テニスコート等で開催された。この大会はこれまでアジアカップひろしま国際大会という名称で開催されてきたが、今年より日本ソフトテニス連盟との共催となり、新しい名称に変わり第1回として新しくスタートした。今年は新型コロナウイルスの影響で海外からの参加チームはなかったが全国各地から多数のチームが参加した。NTT西日本ソフトテニス部が本大会に出場し、ベスト16という結果で大会を

終えた。NTT西日本ソフトテニス部を含め全チームが熱い試合を繰り広げ、会場は熱気にあふれていた。(高山稜汰)

中国電力
陸上競技部

中国電力陸上競技部

好記録続出 びわ湖毎日マラソン！

2月28日(日)に行われた第76回びわ湖毎日マラソン大会に、中国電力から岡本選手、清谷選手、兼実選手、藤川選手、松井選手、秋山選手の計6名の選手が出場した。びわ湖毎日マラソンは国内で行われている大会では最も歴史の長い大会だったが、来年から大阪マラソンと統合するため今年が現在のコースで開催される最後の大会だった。

大会当日の天候は強風もなく安定し、日本新記録や歴代トップ10に入る選手が5人出るなど素晴らしい記録が続出した。中国電力陸上競技部からは初出場の選手を含め4名が自己ベストを更新した。その中でも清谷選手は、2分以上タイムを縮めた。



選手は毎日たくさんの仕事と練習をこなしながら、子供たちに陸上の楽しさを教える活動も行っている。小学生対象の陸上教室では、ただ走るのではなく、ゲームを交え、楽しく参加できるようなプログラムになっている。選手と対決するような機会もあり、トップ選手の走りを肌で感じることもできる貴重な機会だ。

今年度も様々な陸上教室が開催されるので、ぜひ参加してみてもいいだろうか。(岩本綾乃)



「昨シーズンを超える」

コカ・コーラ

レッドスパークスホッケー部！！

今年度のコカ・コーラレッドスパークスホッケー部は新たに6名の選手が加入し、選手24名で今シーズンを戦い抜く。主将は昨シーズンも務めた金藤祥子選手。金藤選手は「昨シーズンを超える4冠を目指す事はもちろん、全ての試合でコカ・コーラレッドスパークスらしい魅力のあるホッケーをみなさまにお届けする事が目標」と意気込みを語った。副将は田中泉樹選手と今シーズンから新たに務める浅井悠由選手の2名。田中選手は「完全制覇達成のために、チーム一丸となり、一戦一戦全力で戦い、サポートしてくれるみなさまへの感謝の気持ちを忘れず、たくさんの感動をお届けしたい」と述べた。又、浅井選手は「初の4冠を目標に、去年とは違ったレッドスパークスをお見せできるように、日々の時間を大切にチーム一丸となって頑張ります」と決意を述べた。



新チームとなり「4冠」という目標を掲げ、昨シーズンを超えていけるような、さらなるパフォーマンスを目指しているコカ・コーラレッドスパークスホッケー部。試合会場へ足を運びレッドスパークスの応援、そして珍しいホッケーの試合観戦ができることに期待したい。(小林賢生)



球春到来！

新風が吹くカープの未来！

広島東洋カープ

2021年1月24日、広島東洋カープのOBである天谷宗一郎さんが岩国市のグラウンドで地元の小学生対象の野球教室を

開いた。新型コロナウイルスが流行した時期ということもあり感染症対策をしながらの野球教室であったが40名の小学生が集まった。初めて野球を経験した子もいたが「野球が楽しいことが分かった」と感激し、天谷さんも「教室が野球を始めるきっかけになれば」とコメントを残した。

覇権奪還を狙うカープに今年も、海を渡りカープのユニフォームに袖を通した助っ人外国人選手が訪れた。ケビン・クロン選手だ。クロン選手の持ち味は豪快なバッティングであり、オープン戦では初安打を満塁ホームランで飾るなど自慢のパワーを遺憾なく発揮し、オープン戦2本塁打、7打点とチームトップの成績を残した。シーズン開幕戦でも初打席でいきなりヒットを放ち、開幕5試合目にして来日初ホームランを打つなどチームに大きく貢献している。



また、チームに溶け込むスピードも早く、「厳しい練習の中でも、楽しくやりながらチームに溶け込んでいると感じている」と自信にあふれるコメントを残した。一度登録抹消も経験したが、一軍復帰直後の試合でチームを勝利に導く打点をあげるなど彼のカープにかけける思いはただものではないだろう。

2021シーズンが開幕し日々熱戦が繰り広げられている。新戦力の助っ人とこれからのカープを支える子供たちの笑顔、広島に吹く新しい風は今の暗い世の中を吹き飛ばし、カープを熱く盛り上げていくに違いない。(前田健太郎)



広島ドラゴンフライズ

広島ドラゴンフライズ電車運行中

広島電鉄が2020-21シーズンの広島ドラゴンフライズ応援企画として、「広島ドラゴンフライズ電車」を運行している。今シーズンで5

代目となる「広島ドラゴンフライズ電車」は今シーズンより新たに、車内に選手・コーチによる電停案内やマナー喚起等のアナウンスが流れている。電車は1日約5～6往復し、主に2号線(広島駅～広電西広島～広電宮島口)にて運行している。使用車両は5004号(5000形グリーンムーバー)、外装デザインは電車全体に広島ドラゴンフライズの集合写真やクラブロゴ、クラブスローガン「朱炎」、クラブマスコットの「モヒカンアビィ」等がデザインされており、車内は広島ドラゴンフライズの12名の選手写真やB1



昇格までの軌跡が装飾されている。運行期間は2021年9月までを予定している。

交通系ICカード「PASPY」を使って広電電車・広電バス・広島バスに各応募期間中にあわせて8回以上乗車すると、抽選で広島ドラゴンフライズホームゲームペアチケット、選手直筆サイン入りイヤーズブックが当たるキャンペーンが実施される。キャンペーンは、年間を通じて4回実施され、郵便はがきに必要事項を記入の上、応募できる。(尾本衣音)



広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。

ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

スポーツを通じた社会貢献 賛助会員募集

スポーツを通じた『社会貢献活動』への 貴社・団体様の参画!

温かいご支援の一つひとつが、夢と潤いのある「スポーツ王国ひろしま」への力となります。スポーツを通じた社会貢献へ継続的に寄与していくため、当NPO法人の事業目的に賛同し、活動を支援してくださる賛助会員を募集しています。多くの皆様からのご支援をもとに、さらに充実した活動を続けてまいりたいと存じます。

お力添えくださいますよう、心からお願い申し上げます。

■年会費(企業・団体様)

一口**50,000**円(何口でも可)

■振込先

広島銀行 本店営業部

口座名: 特定非営利活動法人 広島トップスポーツクラブネットワーク

理事長 松田 真二

口座番号: 普通預金 2774313

ご支援いただいている賛助会員様

RCC中国放送

株式会社RCC文化センター

学校法人石田学園

有限会社伊藤久芳堂

株式会社インパルスコーポレーション

株式会社NTTドコモ 中国支社

鹿島建設株式会社 中国支店

株式会社桐原容器工業所

呉市

呉バレーボール協会

有限会社C&C安田

シンコースポーツ株式会社 中国支店

セキスイハイム中四国株式会社

広島支社

医療法人せのがわ

株式会社体育社

竹原市

株式会社千鳥

中国ジェイアールバス株式会社

株式会社中国新聞社

株式会社中国新聞広告社

株式会社日本旅行 広島支店

TSSテレビ新広島

西日本旅客鉄道株式会社 広島支社

株式会社ハークスレイ
(ほっかほっか亭)

株式会社広島朝日広告社

広島管公学生服株式会社

広島信用金庫

広島テレビ

広島ホームテレビ

株式会社ヒロタニ

公益財団法人福山市スポーツ協会

平安堂梅坪

株式会社ボブラ

特定非営利活動法人ボラーノ

前田食品

(マリーナロッジ BIG FLAG)

株式会社マリーナホッププロパティ

ミザワホーム中国株式会社

株式会社メディカルイン

株式会社モルテン広島・四国支店

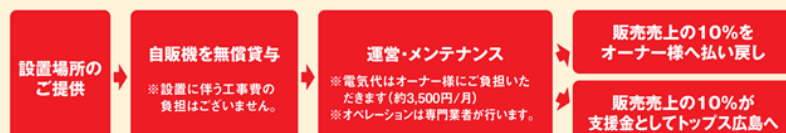
株式会社有文社

株式会社良和ハウス

株式会社ルネサンス

トップス広島支援自販機 オーナー募集中!!

トップス広島では、支援自販機を設置させていただき、売上の一部をトップス広島の支援金とさせていただきます。「トップス広島支援自販機オーナー」を募集しております。



目的 売上金収入により活動の拡大を図り、さらなる「スポーツを通じた社会貢献」に寄与する。

対象 トップス広島、および広島のスポーツを応援していただける企業・団体・一般の方。
※ロケーション、採算性等の条件により設置いただけない場合もございますので、予めご了承ください。

支援自販機について、詳しくは下記までお問い合わせください。

私たちの名前=トップス広島

正式名称:NPO法人広島トップスポーツクラブネットワーク

「広島」という一つの「すそ野」を持ついくつかのトップスポーツクラブがネットワークをつくり、広島のスポーツ全体を盛り上げていきたいという願いを込めました。「トップス広島」の名前が、県民・市民の皆さんに親しまれるよう努力していきます。

マークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニアの選手がトップの選手を目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



NPO法人 広島トップスポーツクラブネットワーク

事務局 〒734-0007 広島市南区皆実町2-8-42

TEL:082-254-2012 FAX:082-251-5712 <https://www.tops-h.net/>

